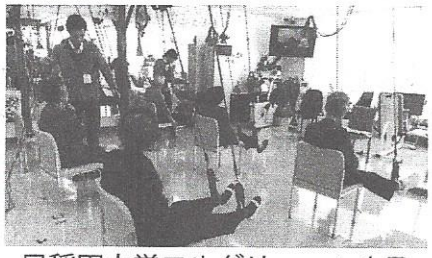
介護新聞　平成25年11月28日（木）

早稲田イーライフ札幌

多様なニーズに応える予防デイ

札幌市東区

道内で初めて、要支援者だけを対象にした短時間の介護予防デイサービス「早稲田イーライフ札幌」を札幌市東区に2009年8月オープンしたジュネリカ。同・弐番館を11年8月開設した。先駆的な取り組みが注目され、11年度には道の「北海道チャレンジ企業表彰」にも選ばれた。



早稲田大学エルダリー・ヘルス研究所開発の介護予防プログラムを活用

クローズアップ

早稲田大学エルダリー・ヘルス研究所が開発したスリングセラピーとマシントレーニングの介護予防プログラムを提供。看護師や作業療法士、介護福祉士らが「元気であり続けたい」という利用者の思いを支えている。

白を基調にした明るい雰囲気の事業所は、フィットネスクラブをイメージした「介護予防スタジオ」。セダン型車両の送迎も一般的なデイと一線を画し、利用者は要支援者だけで約130人に上る。同・弐番館は要介護に移行した利用者の希望を受け、介護サービスにも対応している。

「歩行状態の改善効果を視覚的に実感してもらい、日常生活の自信につなげてほしい」（西原潤社長）と、歩く姿勢や歩行速度などを動画で「見える化」しているのも特徴だ。

ホームページ（http://www.kaigo-yobou.com/）では事業所の特徴を具体的に紹介

開設以来、継続している活動の1つが、介護予防センターなどと連携して取り組んでいる体操指導。「介護予防デイを運営している事業者としての地域貢献」と考え、スタッフを無償で派遣する。「介護予防の大切さを多くの人に知ってほしい」と考えるからだ。

12年度に札幌市から健康サービス産業推進事業に採択され、非該当者・介護保険未認定者対象の「介護予防教室」を試行的に実施。本年度は独自に継続しており、介護予防に力を入れる事業者として多様なニーズに応える挑戦を続けている。

▼早稲田イーライフ札幌＝札幌市東区北26条東4丁目1―1、☎011（790）7986▼同・弐番館＝同区北17条東1丁目1―20、☎011（768）8101